

論題	信濃国松代藩の横浜警衛に関する史料について —国文学研究資料館「信濃国松代真田家文書」を中心に—
著者	嶋村元宏
掲載誌	神奈川県立博物館研究報告—人文科学— 第42号
ISSN	0910-9730
刊行年月	2015年（平成27年）11月
判型	A4 (210mm × 297mm)

【資料紹介】

信濃国松代藩の横浜警衛に関する史料について

— 国文学研究資料館所蔵

「信濃国松代真田家文書」を中心に—

嶋村 元 宏

【キーワード】

横浜警衛 開港場 太田陣屋 松代藩 真田家

【要旨】

本稿は、平成二六年度神奈川県立歴史博物館調査研究事業個別研究「幕末開港期における信濃国松代藩の横浜警衛」の成果の一部である。当該研究においては、神奈川（横浜）開港場の警衛を文久二年から担った信濃国松代藩の活動実態を明らかにすることを目的とし、国文学研究資料館所蔵「信濃国松代真田家文書」の調査を行った。

その結果、「信濃国松代真田家文書」に限った場合、有事における藩主の行動や神奈川奉行の指揮監督下に置かれることなどを示す史料がわずかに含まれるものの、物品購入に関する金銭出納帳と横浜警衛を命じられた松代藩士が出役する際と引き払う際に藩から借金をしていたことを示す内借証文が大半であることを得た。

また、これまで松代藩が横浜警衛から離れた時期について判然としていなかったが、元治元年一〇月までは横浜警衛を担い続けていたことが判明した。

今後について、「信濃国松代真田家文書」に含まれる「日記」類ならびに国文学研究資料館所蔵「信濃国松代依田家文書」の利用、および松代藩士と横浜周辺住民との交流に目を配ることを課題としてあげた。

はじめに

本稿は、いわゆる安政五ヶ国条約の規定により開港場となった神奈川（横浜）¹周辺地域の警衛を文久二（一八六二）年から担当した信濃国松代藩の活動状況について、国文学研究資料館が所蔵する「信濃国松代真田家文書」（以下、「真田家文書」）を通して明らかにするための基礎的作業として、「真田家文書」に含まれる警衛関係史料の全体像を把握し、その内容について紹介しようとするものである。

江戸幕府（徳川公儀）は各国と結んだ修好通商条約に規定された横浜開港場の建設にあたり、安政五（一八五八）年一〇月二三日に外国奉行水野忠徳、永井尚志、井上清直、村垣範正に対し、「神奈川奉行兼帯之心得」を以て従事させるとともに、開港場周辺地域の警衛を同年一〇月二七日、越前国福井藩と伊予国松山藩へ命じ、神奈川宿の平沼新田の小川、すなわち帷子川を境に、横浜開港場を含む本牧本郷村までの東南方面を越前福井藩に、芝生村から川崎宿に至る迄の北方面を伊予松山藩に警衛を行わせることとした。²松代藩はその福井藩が担当していた方面を播磨国姫路藩とともに担当することになったのである。

信濃国松代藩は、海に接しない内陸に位置する藩でありながら、第八代藩主真田幸貫が、はじめて海岸防禦御用掛（海防掛）となった老中松平定信の菓子であったこともあり、藩主就任以来海岸防禦御用の準備に力を注ぎ、天保期には水野忠徳を首班とする幕閣に古河藩主土井利位とともに列し、アヘン戦争後の緊迫した国際環境の中で海防掛にも任じられている。また、幸貫の跡を継いだ第九代藩主幸教の代には、ペリー来航に際して自ら品川御殿山の警衛を願い出で、嘉永七（一八五四）年二月から横浜ではじまった条約交渉中は横浜応接所の警衛を任されている。

真田宝物館が平成二五(二〇一三)年に開催した特別企画展『松代藩と黒船来航』⁴⁾において、「真田家文書」から開港後の横浜警衛に関する史料が紹介されたが、横浜の警衛をペリー来航期と開港直後の二度にわたりおこなった松代藩の警衛活動に関する研究は充実しているとは言えない。

そこで、本稿は真田宝物館の特別企画展での成果を踏まえつつ、まず「真田家文書」中の開港直後の横浜警衛に関する史料を全点確認する。そして、主要な史料について紹介すると共に、今後の課題について示すことにしたい。

「真田家文書」中の横浜警衛関係史料

「真田家文書」は、国文学研究資料館(史料館)へ昭和二五(一九五〇)年真田家から移譲された史料群である。⁵⁾このなかから横浜警衛に関する史料は、「表」に示したように、九五件確認できる。これらは、国文学研究資料館の「収蔵歴史アーカイブズデータベース」を利用し、「太田陣屋」⁶⁾ならびに「海防」をキーワードにした検索結果から、開港後の横浜警衛に関する内容を持った史料である。

九五件のうち【No.3】から【No.12】までの一〇件を除く八五件は、国文学研究資料館の分類上「財政」に分けられている。後述するように、内容的に内借証文や物品購入費用に関することから「財政」に含まれたと考えられる。

次に、直接警衛に関係する史料について見ていくことにしたい。

まず、「法制」に分類されている【No.3】「御条目」は、太田陣屋詰の藩士に対し、怠惰無く警衛に従事すること、町人への迷惑行為や賭博の禁止、風紀を乱さないようにすることなど、綱紀の肅正を布達したもの

である。

そして、横浜にイギリス艦隊が来航した際の状況を伝える史料である【No.4】「真田幸教同書并附札」は、以下の通りである。

(包紙)

「文久三亥四月十六日

英国軍艦渡来二付、為御警衛被遊

御参府候処、御不快二付御在所江被為

入度御同書江御附札渡

封

今度神奈川表江英国軍艦數艘渡来不容易御時節付、早速参府御警衛厳重可申付処、持病疝痛当春以来別而不相勝、其上途上致眩暈、旅行難渋仕候間、無拠為名代家老共之内申付、人数召連出府為仕度旨同書差出候得共、其後何分心済不仕心外至極付右御差図不相待、押而参府仕候処、前段伺之趣者伺之通御差図被成下候、然処着府以来益病体不相勝、眩暈強其上眠氣相発、途上甚敷、夜分眠兼食餌不進等二而、自然心気相変、折角参府仕候得共、御警衛筋夫々指揮出来兼、万一開兵端候節二至、却而家来共進退妨二も可相成哉とは又心痛仕、別而気分落付兼候間、甚自由ケ間敷恐入候儀二御座候得共、召連候家老共始人数之儀者、其假差置、御警衛筋嚴重申付、一先在所表江罷越、篤と養生差加、少々も快方ニ趣候者、猶早々参府仕度奉存候、此段奉伺候、以上、

四月十五日

真田信濃守

(貼紙)

可為同通候、

文久三（一八六三）年に発生した、イギリス艦隊の来航という有事に際し、体調不良により参府がかなわぬことを伝える史料であるが、このような有事においては藩主自らが参府することが求められていたことであろうかといふことができる。

また、横浜周辺を支配していた神奈川奉行と警衛を任務とする松代藩との関係について記した史料が、【No 5】「老中御書取」である。

（包み）

「文久三亥四月十一日

横浜表江浪士可及乱妨哉之風聞御警衛中両端ニは候得共、当分之
処心得之儀御家来江可申旨被仰渡候書取」

（表書）

「四月十六日 豊前守様御達、

御書取

真田信濃守

神奈川表御警衛之儀、方今市中不穩浪士共横浜表乱妨ニ可及哉之風聞も有之、懸念之儀ニ付、当分之内諸事神奈川奉行見込を以、十分ニ取斗候様相達候、就而は、兼而御警衛被 仰付候御趣意も有之候ニ付、兩端ニ相成不都合ニは可有之候得共、当節之場合無余儀筋ニ付、特と致勘弁、当分之支は、諸事神奈川奉行承合候様、同所諸役人共江可申渡候事、

浪士による攘夷事件発生が懸念される中、警衛活動の指揮については、神奈川奉行の差配を受けるよう伝えている。平時においては、神奈川奉行の指揮監督下に置かれることなく、警衛活動を行いつつも開港場周辺地域における最終的な警衛の指揮は神奈川奉行にあったことが理解できる。

以上三件が松代藩の警衛活動そのものを類推することが可能な史料である。そして、「財政」にこそ分類されていないが、【No 6】から【No 12】もふくめ日常における物品購入や内借証文に大別できる史料である。そのうち、【No 1】、【No 2】、【No 6】から【No 12】および【No 93】から【No 96】は、太田陣屋における生活にあたり松代藩が購入した品々及びその費用を知ることができる史料である。特に、【No 1】と【No 2】は福井藩から警衛の引き継ぎが行われた文久二年段階のもので、引き継ぎ直後の状況を知ることができる。また、【No 6】「太田陣屋品々御達し留」は、年代不詳であるが、太田陣屋に詰めていた松代藩士の日常的な活動を知ることができる史料である。太田陣屋における藩士の訓練や武具の手入れなどに必要な品々に関する記述に加え、福井藩から引き継いだ八王寺村の遠見番所の掃除を、その村の大王へ命じていることも記されている。⁷²

覚

金四両也

右は此度太田陣屋江出張被 仰付、御手充金髓ニ受取拝借仕候、返上之義は、御指図次第上納可仕候、以上、

文久三亥年

三月

岡本精一郎⁷³

池田富之進殿

右之通承知仕候、以上、

柘植嘉兵衛⁷⁴

というのが一般的な形式である。拝借人は払方御金奉行池田富之進宛に

証文を提出し、それに対して勘定吟味役柘植嘉兵衛が確認のうえ署名捺印している。

なお、これまで松代藩による横浜警衛がいつまで行われたかについては、判然としなかったが、物品購入に関わる書付より、元治元（一八六四）年一〇月時点においても、太田陣屋は機能していたことが判明した（No.95）「覚」。

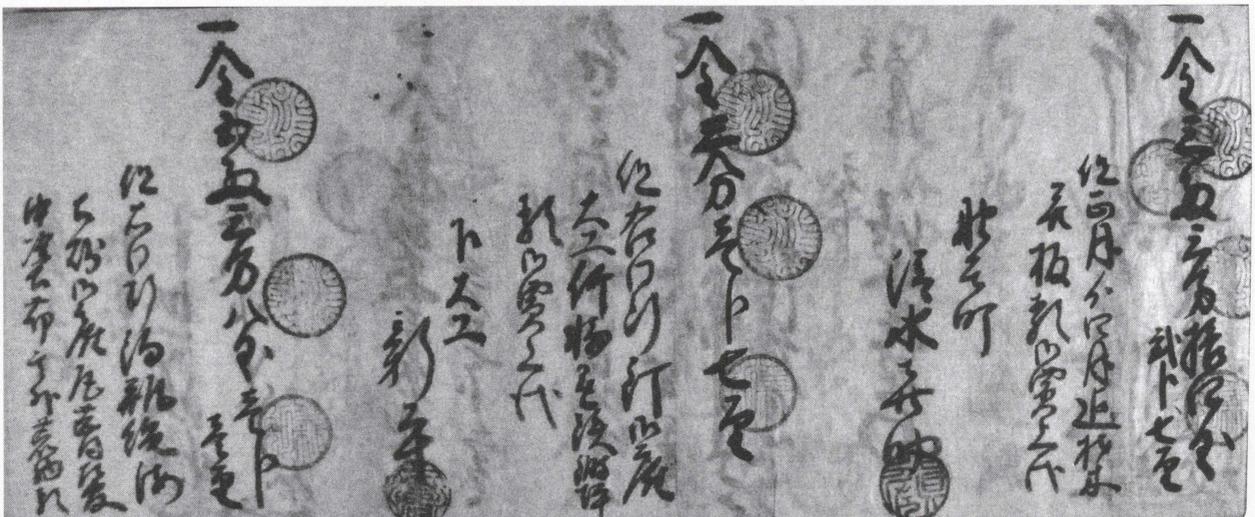
今後の課題

以上、今回調査対象とした「真田家文書」を概括した。その残存状態からいえば、警衛活動そのものを直接的に示す史料はわずかしかなかったといわざるを得ない。それを補うためにも、今回直接の対象とはしなかったが、「真田家文書」中の各「日記」類を参照することは必須である。

また、「真田家文書」ではないが、同じく国文学研究資料館が所蔵する「信濃国松代依田家文書」に目を配る必要もあろう。太田陣屋で警衛を担った松代藩士依田家に伝わる史料群で、陣屋に詰めた人物について詳細な記録が残されており、警衛の実態を把握する上で貴重な史料群であるといえよう。

最後に、横浜警衛を担った松代藩ならびに藩士と地域住民とのかかわりについて指摘しておきたい。

【No.1】をはじめとする諸物入用にかかわる書付には、その品代は当然として、納入者の名も記載されている（写真参照）。松代藩士が太田陣屋を拠点として警衛活動をおこなううえでその日常生活を支えていたのは、横浜周辺地域で生活する人びとである。故郷を離れ警衛に従事する者と横浜周辺で生活を営む者との交流にも目を向けることも必要であろう。



〔写真〕 No. 10 「(亥正月より四月迄太田御陣屋敷金銭見届帳)」

（『信濃国松代真田家文書』国文学研究資料館所蔵）

「野毛町 清水喜助」、「下大工 新平」の名が見える。

註

- (1) 条約では、開港すべき港として「神奈川」と表記されている。したがって、神奈川開港場であるべきだが、開港直後から実際に開港場となった場所の地名である「横浜」が国内外において一般的に使用されることになったことから、本稿においても以下、「横浜開港場」とする。
- (2) 『大日本古文書 幕末外国関係文書』（東京大学出版会、覆刊一九七二年）（以下、「幕末」）之二二、二八三号文書。
- (3) 同前、三四七号文書。
- (4) 平成二五年九月四日～二月二日開催。なお、同年六月五日から九月二日に開催された企画展『真田幸貫と海防』の内容も合わせ、特別企画展図録『松代藩と黒船来航』（長野市教育委員会文化課・松代文化施設等管理事務所（真田宝物館）編、二〇一三年）が刊行されている。
- (5) 詳細については、国文学研究資料館（史料館）が発行する「信濃国松代真田家文書目録」の各解題を参照。目録は、以下の通り。
- | | | | |
|--------|-----------|------|--------|
| その1 | 史料館所蔵史料目録 | 第二八集 | 一九七八年。 |
| その2 | 史料館所蔵史料目録 | 第三七集 | 一九八三年。 |
| その3 | 史料館所蔵史料目録 | 第四〇集 | 一九八五年。 |
| その4 | 史料館所蔵史料目録 | 第四三集 | 一九八六年。 |
| その5 | 史料館所蔵史料目録 | 第五一集 | 一九九〇年。 |
| その6 | 史料館所蔵史料目録 | 第五九集 | 一九九三年。 |
| その7 | 史料目録 | 第八六集 | 二〇〇八年。 |
| その8 | 史料目録 | 第八七集 | 二〇〇八年。 |
| その9 | 史料目録 | 第八八集 | 二〇〇九年。 |
| その10 | 史料目録 | 第八九集 | 二〇〇九年。 |
| その11 | 史料目録 | 第九〇集 | 二〇一〇年。 |
| その12・完 | 史料目録 | 第九一集 | 二〇一一年。 |
- (6) 太田陣屋とは、安政五年二月二七日、幕府から横浜警衛を命じられた福井藩が、その拠点とすべく太田村（現在の横浜市西区日ノ出町二丁目付近）に設けた陣屋

である。地名にちなんで太田陣屋と呼んだ。福井藩から警衛を引き継ぐにあたり、松代藩も姫路藩と共にこの太田陣屋も引き継ぎ福井藩同様横浜警衛の拠点としていた。前掲、『松代藩と黒船来航』、一〇〇頁参照。

(7) 前掲、『松代藩と黒船来航』、一〇五頁、資料137の解説参照。

(8) 前掲、『松代藩と黒船来航』、一〇〇頁。

(9) 前掲、『松代藩と黒船来航』、一〇四頁、資料134・135の解説参照。

付記

本稿は、平成二六年度神奈川県立歴史博物館調査研究事業個別研究「幕末開港期における信濃国松代藩の横浜警衛」の成果の一部である。

この研究の実施にあたり、平成二六年八月に真田宝物館専門員山中さゆり氏、同溝邊いずみ氏の協力を得て国文学研究資料館所蔵「信濃国松代真田家文書」の調査を行った。また、あわせて有益な助言をいただいた。両氏には、記して謝意を表すものである。

なお、本稿の記述に関する一切の責任は筆者のみに有ることは言うまでもない。

〔表〕 調査史料一覧（国文学研究資料館所蔵「信濃国松代真田家文書」）

No.	資料名	作成者・差出人	受取人	年代	形態	点数	資料番号
1	神奈川横浜辺御警衛ニ付太田陣屋御請取即日御人数出并前後品々御入用金請取同帳	佐藤安喜（御勘定吟味）		文久2年	横長半	1冊	い3937
2	御長屋荷物料請取証文〔太田陣屋長詰用〕	小宮山甲之助	谷口左伸・坂口又治他2人宛	文久2年10月		1通	き937
3	御条目〔太田陣屋御目付〕			文久3年2月		1通	き2
4	真田幸教同書并附札〔英艦渡来警衛のため出府すれども不快ニ付帰邑したき旨〕			文久3年4月15日	包紙	1通	か706
5	老中御書取〔横浜表にて浪士乱妨ニ付、神奈川奉行指示にて警衛すべき旨〕	（松平信義）	真田幸教宛	文久3年4月16日	包紙	1通	か2753
6	太田御陣屋品々御達し留			5月～8月	半	1冊	あ1036
7	御収納郡方・御勝手元へ御尋物答書〔太田陣屋詰諸向申立之儀〕/御答書類（枅方掛）			文久2年～3年3月11日～11月1日		15通	き814 - 025
8	御勝手元へ御尋物答書〔太田陣屋詰御番士切替〕/御答書類入（枅方掛）			文久3年6月22日		1通	き815 - 068
9	御収納郡方同書〔長命平三郎太田陣屋詰高〕			10月11日		1通	き864
10	（亥正月より四月迄太田御陣屋敷金見届帳）			文久3年	横長半	合1冊	あ1353
11	（亥五月より八月迄太田御陣屋敷金見届帳）			文久3年	横長半	合1冊	あ1354
12	（亥九月より十二月迄太田御陣屋敷金見届帳）			文久3年	横長半	合1冊	あ1355
13	内借証文綴〔旗新造入用、上納金改料、西洋訳書買上代、御留守居同席招待入料、長屋普請入料、長屋引移入用、馬具代、塩崎村康楽寺拝借分請取渡、藤田繁之丞妻死去入用、引渡人在所差送り入用、日光御使者道中囲金、役方用紙代、鉄砲類新造入料、合葉買上代、領地判物差越道中手充、医術修業手充、大風雨災長屋潰損手充、太田陣屋詰用意金、勤向要用、短刀修復料、剣術修業入料、将軍宣下濟名代使用入用、豊隆院様葬送御供入用等〕		西村源蔵等宛	天保13年12月～文久3年正月	1綴	226通	け01485
14	太田御陣屋へ臨時出張・太田御陣屋御在所へ差送り候節・太田御陣屋御引払之節御拝借証文留帳/太田御陣屋引払内借金証文綴			文久3年3月～元治元年6月	縦半	1冊	と00019-002
15	覚（横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文）/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	岡本精一郎/（奥書） 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年3月	縦紙	1枚	と00019-003-001
16	覚（横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文）/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	畑権兵衛/（奥書） 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-002
17	覚（横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金6両受取証文）/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	畑権兵衛/（奥書） 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久5年丑5月	縦紙	1枚	と00019-003-003
18	覚（横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文）/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	西角玄修/（奥書） 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-004
19	覚（横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文）/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	玉川渡/（奥書） 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-005
20	覚（横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文）/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	中俣一平/（奥書） 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-006
21	覚（横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文）/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	玉川一学/（奥書） 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月17日	縦紙	1枚	と00019-003-007
22	覚（清水金弥他横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金50両受取証文）/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	牧野大右衛門/（奥書） 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-008
23	覚（牧野他横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金24両受取証文）/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	牧野大右衛門/（奥書） 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月8日	縦紙	1枚	と00019-003-009

No.	資料名	作成者・差出人	受取人	年代	形態	点数	資料番号
24	覚(各金4両横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金9両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	相沢龍之進・管鉞太郎/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-010
25	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	大日方正司/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-011
26	覚(金井精蔵他横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金45両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	白川織之助・高田多兵衛・上原徳之助他9名/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-012
27	覚(玉川一学横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金5両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	牧野大右衛門/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-013
28	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金5両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	津田源五郎/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-014
29	覚(小崎隼尾横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金5両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	牧野大右衛門/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-015
30	覚(藤井芳郎横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金5両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	牧野大右衛門/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-016
31	覚(斉藤馬之助太田陣屋臨時出役手当金11両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	窪田慎平/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-017
32	覚(塚田相楽・小山泰蔵横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金10両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	森木一二三/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-018
33	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金3両1分受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	小林柔助/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-019
34	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金3両3分受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	柄沢大之進	池田富之進殿	文久3年3月8日	縦紙	1枚	と00019-003-020
35	覚(太田陣屋臨時出役手当金1両1分受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	佐藤小左衛門/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-021
36	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金1両1分受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	小林善蔵(盛明)/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-022
37	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金1両1分受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	小林善蔵(盛明)	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-023
38	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	樋畑翁輔/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	横切紙	1枚	と00019-003-024
39	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	宮下三郎治/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-025
40	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	牧野大右衛門/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-026
41	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	間庭順之助/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-027
42	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	松林左金吾/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-028

No.	資料名	作成者・差出人	受取人	年代	形態	点数	資料番号
43	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	小泉市二 / (奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-029
44	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金6両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	山下左馬助・伊藤半左衛門・馬場平作 / (奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-030
45	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金8両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	野中弥左衛門・高橋清蔵・吉原慎吾他5名 / (奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-031
46	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金7両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	野中弥左衛門・高橋清蔵・吉原慎吾他5名 / (奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-032
47	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	多田鎌二郎・橋詰専太郎 / (奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-033
48	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両2分受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	岡田馬之助 / (奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-034
49	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	戸根山徳三郎・藤田量之進・増沢理介他6名 / (奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-035
50	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金1両2分受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	水野芳之助 / (奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-036
51	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金10両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	酒井愛之助 / (奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-037
52	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	下目付米倉勝助 / (奥書) 森木一二三 / (奥書) 柘植嘉兵衛	御金方御役所	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-038
53	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	下目付小林岩蔵 / (奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-039
54	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金1両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	下目付倉橋甚左衛門 / (奥書) 森木一二三	御金方御役所	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-040
55	覚(一代鉄砲師若村寅松横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金1両1分受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	片守之輔 / (奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-041
56	覚(御口吉作横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金1両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	根井小右衛門 / (奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-042
57	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金1両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	下目付相原又左衛門 / (奥書) 森木一二三	御金方御役所	文久3年亥4月	縦紙	1枚	と00019-003-043
58	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金100両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	大日方四郎兵衛 / (奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥4月	縦紙	1枚	と00019-003-044
59	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	中村小一郎 / (奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥5月	縦紙	1枚	と00019-003-045
60	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文) / 横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴 / 太田御陣屋引払内借金証文綴	片岡金一郎 / (奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥5月	縦紙	1枚	と00019-003-046

No	資料名	作成者・差出人	受取人	年代	形態	点数	資料番号
61	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	藤井浅右衛門/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥4月	縦紙	1枚	と00019-003-047
62	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	蟻川賢之助/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥5月8日	縦紙	1枚	と00019-003-048
63	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	柘植嘉兵衛/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥5月	縦紙	1枚	と00019-003-049
64	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金2両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	藤田愛之丞/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥5月	縦紙	1枚	と00019-003-050
65	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金1両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	小林善蔵/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥5月	縦紙	1枚	と00019-003-051
66	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	鈴木内蔵允内若林藤吾/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-052
67	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金20両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	吉村左織・矢野茂・藤田繁八他1名/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-053
68	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金3両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	渋谷玄龜	柘植嘉兵衛	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-054
69	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金6両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	長命平三郎・加藤金五郎・松村半次郎他1名	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-055
70	覚(友野俊蔵他7名横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金54両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	牧野大右衛門/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥4月	縦紙	1枚	と00019-003-056
71	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金3両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	東条清見/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥4月	縦紙	1枚	と00019-003-057
72	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金8両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	窪田慎平/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥5月	縦紙	1枚	と00019-003-058
73	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金3両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	長命平三郎・加藤金五郎・松村半次郎他1名/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-059
74	瀧村左源太他五名拝借金受取証文[覚](横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金16両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	瀧村左源太・木廣平・三輪六十郎他3名/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-060
75	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金9両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	吉村左織・矢野茂・藤田繁之丞/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-061
76	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金4両2分受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	鈴木内蔵允内若林藤吾/(奥書) 柘植嘉兵衛	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-062
77	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金1両2分受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	水野芳之助	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-063
78	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金6両受取証文)/横浜辺警護太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田御陣屋引払内借金証文綴	玉川善大夫/(奥書) 佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥3月	縦紙	1枚	と00019-003-064

No.	資料名	作成者・差出人	受取人	年代	形態	点数	資料番号
79	覚(横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金5両受取証文)/横浜辺警備太田陣屋臨時出役手当金受取証文綴/太田陣屋引払内借金証文綴	河原左京内松本吉左衛門/(奥書)佐藤安喜	池田富之進殿	文久3年亥5月	縦紙	1枚	と00019-003-065
80	内借証文綴[太田陣屋詰用意金、長滞府拝借金、急立帰御供入用、御帰城道中御困葉種料、日光使者手充、イギリス小銃買上代、外科伝授品々入料、砲術修業入料]		綿貫泰蔵等宛	文久3年10月-元治元年12月	1綴	56通	け01477
81	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并芝陣屋新長屋自普請金6両内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	出川善太夫/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子2月	縦紙	1枚	と00019-001-001
82	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金3両内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	奥村権之丞/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月8日	縦紙	1枚	と00019-001-002
83	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金3両内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	奥村権之丞/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月16日	縦紙	1枚	と00019-001-003
84	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金3両内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	前田角次郎/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月16日	縦紙	1枚	と00019-001-004
85	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金12両内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	関口勇馬・小宮早之助・木廣平他1名/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月	縦紙	1枚	と00019-001-005
86	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金3両内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	春原玄三	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月	縦紙	1枚	と00019-001-006
87	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金3両2分)/太田陣屋引払内借金証文綴	田中権之助/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月8日	縦紙	1枚	と00019-001-007
88	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金1両2分内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	玉井進一郎/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月	縦紙	1枚	と00019-001-008
89	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金1両2分内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	吉原慎吾/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月	縦紙	1枚	と00019-001-009
90	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金1両2分内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	西村孝三郎/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月8日	縦紙	1枚	と00019-001-010
91	覚(横浜辺警備御免太田陣屋引払出立金并新長屋自普請金1両2分内借金受取証文)/太田陣屋引払内借金証文綴	長命平三郎/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月	縦紙	1枚	と00019-001-011
92	太田陣屋敷詰之面々家内御在所へ罷帰候御手充拝借元帳(上屋敷先例之通支給之旨)/太田陣屋引払内借金証文綴	池田富之進/(奥書)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子6月8日	縦紙	1冊	と00019-001-012
93	御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者善平他1名分太田陣屋詰切米38俵1斗4合受取の上支給に付)/(切米・扶持米・被下米受取渡証文綴 文久3年1月~元治元年4月)	御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作/(奥印)竹村半蔵/(奥印)吉野芳馬	郡御奉行所	文久3年亥9月	横切継紙	1通	ほ00023-026
94	御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者幸蔵他1名分太田陣屋詰帰り切米17俵8升5合受取の上支給に付)/(切米・扶持米・被下米受取渡証文綴 文久3年1月~元治元年4月)	御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作/(奥印)竹村半蔵/(奥印)吉野芳馬/(奥印)斎藤友衛	郡御奉行所	文久3年亥9月	横切継紙	1通	ほ00023-027
95	覚(太田陣屋敷荷物会所掛御用荷賃銭入料錢17貫余受取証文)/諸入用品代金受取証文綴 慶応3年4月~慶応2年1月	長命平三郎・西村孝三郎・田中権之助/(奥印)岩下縫殿丞・前田角次郎/(奥印)太田藤右衛門/(奥印)柘植嘉兵衛	綿貫泰蔵殿	元治元年子10月	縦継紙	1通	ぬ00002-008

※ この表は、国文学研究資料館「収蔵歴史アーカイブデータベース」を利用し、「太田陣屋」ならびに「海防」をキーワードとした検索結果のうち、資料名および年代から開港後の横浜警備に関する史料を一覧にしたものである。

※ 配列は、概ね年代順とし、同内容の史料でまとめてある。No.は、この表の作成にあたり整理の都合上付した通し番号である。

※ 資料名、作成者・差出人、受取人、年代、形態、点数、資料番号は国文学研究資料館が使用しているものである。ただし、明らかな誤記と思われるものは、訂正した。